



Unified Manager

ソフトウェアのインストール、アップグレード
、削除を行います

Active IQ Unified Manager

NetApp
June 23, 2025

目次

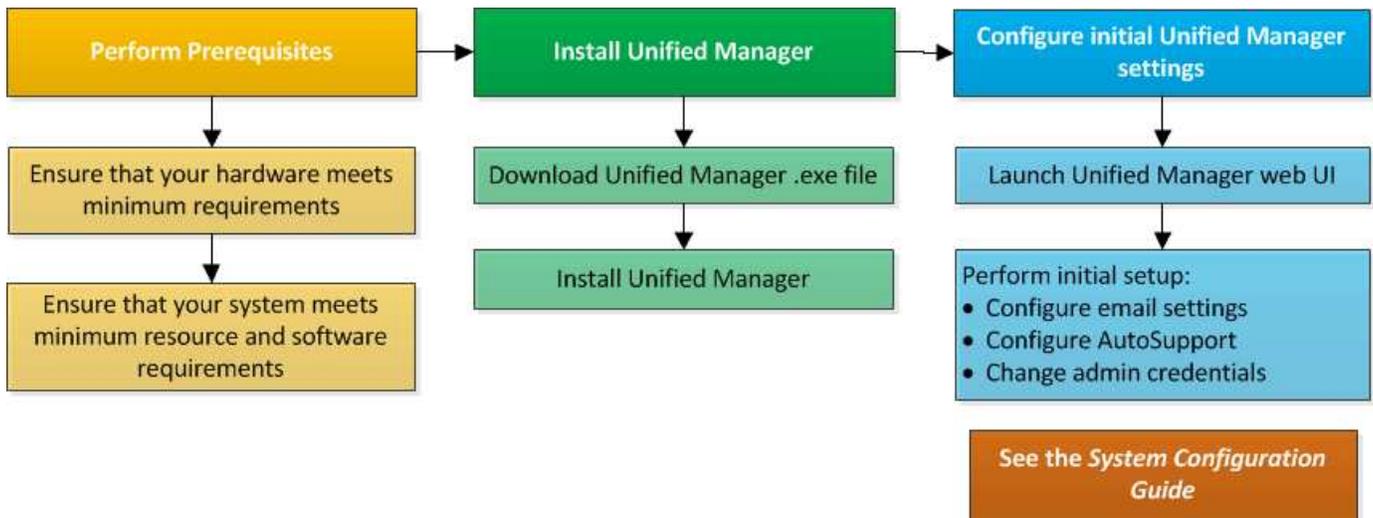
Unified Manager ソフトウェアのインストール、アップグレード、削除を行います	1
インストールプロセスの概要	1
Windows への Unified Manager のインストール	1
Unified Manager をインストールしています	1
Unified Manager の無人インストールを実行する	3
JBoss パスワードを変更しています	5
Unified Managerバージョンでサポートされているアップグレードパス	5
Unified Manager をアップグレードする	6
サードパーティ製品のアップグレード	8
OpenJDK のアップグレード	8
サードパーティ製品のアンインストール	9
Pythonのアンインストール	9
Microsoft Visual C++ 2013のアンインストール	9
Unified Manager を再開しています	9
Unified Manager をアンインストールしています	10

Unified Manager ソフトウェアのインストール、アップグレード、削除を行います

Unified Managerのインストール、新しいバージョンへのアップグレード、またはUnified Managerアプリケーションの削除を実行できます。

インストールプロセスの概要

以下は、Unified Manager を使用する前に必要なインストール作業のワークフローです。



Windows への Unified Manager のインストール

Windows で Unified Manager をダウンロードしてインストールする一連の手順を理解することが重要です。

Unified Manager をインストールしています

Unified Manager をインストールすることで、データストレージの容量、可用性、パフォーマンス、保護の問題を監視してトラブルシューティングすることができます。

開始する前に

- Unified Manager をインストールするシステムがシステムおよびソフトウェアの要件を満たしている必要があります。

を参照してください "[ハードウェアシステムの要件](#)".

を参照してください "[Windows ソフトウェアとインストールの要件](#)".



Unified Manager 9.5 以降、OpenJDK はインストールパッケージに含まれており、自動的にインストールされます。Unified Manager 9.5 以降では Oracle Java はサポートされません。

- Windows の管理者権限が必要です。ユーザ名の先頭に感嘆符「！」が付いていないことを確認してください。インストールを実行するユーザのユーザ名の 1 文字目が「！」であると、Unified Manager のインストールが失敗することがあります。
- ASA R2システムを除くすべてのクラスタがサポートされます。
- サポートされている Web ブラウザを用意しておきます。
- Unified Manager のメンテナンスユーザのパスワードは 8~20 文字で指定し、アルファベットの太文字または小文字、数字、および特殊文字を含める必要があります。
- メンテナンスユーザまたは MySQL の root ユーザのパスワードに次の特殊文字は使用できません。"'%、=<>|^\\ / () [] ; :

次の特殊文字を使用できます。~ !@#\$*-?。[+]

手順

1. デフォルトのローカル管理者アカウントで Windows にログインします。
2. ネットアップサポートサイトにログインし、Unified Manager のダウンロードページに移動します。

"ネットアップサポートサイト"

3. 必要なバージョンの Unified Manager を選択し、エンドユーザライセンス契約（EULA）に同意します。
4. Unified Manager WindowsインストールファイルまたはzipファイルをWindowsシステムのターゲットディレクトリにダウンロードします。
5. 必要に応じてzipファイルを展開し、インストールファイルがあるディレクトリに移動します。
6. Unified Manager インストーラの実行ファイル（.exe ファイル）を右クリックし、管理者として実行します。

Unified Manager により、不足しているサードパーティパッケージとインストールされているパッケージが検出されて表示されます。必要なサードパーティパッケージがシステムにインストールされていない場合、Unified Manager のインストール時にインストールされます。

7. 「* 次へ *」をクリックします。
8. ユーザ名とパスワードを入力してメンテナンスユーザを作成します。
9. データベース接続ウィザードで、MySQL の root パスワードを入力します。
10. [* 変更 *] をクリックして、Unified Manager のインストールディレクトリと MySQL のデータディレクトリの新しい場所を指定します。

インストールディレクトリを変更しない場合は、デフォルトのインストールディレクトリに Unified Manager がインストールされます。

11. 「* 次へ *」をクリックします。
12. Ready to Install Shield ウィザードで、* Install * をクリックします。
13. インストールが完了したら、「* 完了 *」をクリックします。

14. アクティブなアンチウイルスソフトウェアがWindowsシステムにインストールされている場合は、インストールの完了後にアンチウイルススキャンから次のパスを手動で除外します。
- Unified Manager データディレクトリ
 - Unified Manager インストールディレクトリ
 - MySQL データディレクトリ

インストールによって、複数のディレクトリが作成されます。

- インストールディレクトリ

インストール時に指定した Unified Manager のルートディレクトリです。例：C:\Program Files\NetApp\`

- MySQL データディレクトリ

インストール時に指定した MySQL データベースの格納先ディレクトリです。例：C :
\ProgramData\MySQL\MySQLServerData\`

- Java ディレクトリ

OpenJDK がインストールされるディレクトリです。例：C : \Program Files\NetApp\JDK\`

- Unified Manager のアプリケーションデータディレクトリ (appDataDir)

アプリケーションで生成されるすべてのデータが格納されるディレクトリです。ログ、サポートバンドル、バックアップなど、その他のすべてのデータが含まれます。例：C :
\ProgramData\NetApp\OnCommandAppData\`

Web UI にアクセスして Unified Manager の初期セットアップを実行できます。手順については、を参照してください ["Active IQ Unified Manager を設定しています"](#)。

Unified Manager の無人インストールを実行する

コマンドラインインターフェイスを使用して、手動操作なしで Unified Manager をインストールできます。無人インストールを実行するには、キーと値のペアの形式でパラメータを渡します。

手順

1. デフォルトのローカル管理者アカウントで Windows のコマンドラインインターフェイスにログインします。
2. Unified Manager をインストールする場所に移動し、次のいずれかを実行します。

オプション	手順
サードパーティパッケージが事前にインストールされている場合	<pre>「 ActiveIQUnifiedManager-x.y.exe /v" mysql_password=mysql_password INSTALLDIR=" インストールディレクトリ \"mysql_data_DIR="MySQL データディレクトリ \"maintenance_password=maintenance_username/ qn /! * V CompletePathForLogFile" 」です</pre> <p>• 例： *</p> <pre>「 ActiveIQUnifiedManager.exe /s /v 」 mysql_password = netapp21 ! INSTALLDIR= \" C : \Program Files\ NetApp \" mysql_data_DIR= \" C : \ProgramData\MySQLServer\" maintenance_password=* maintenance_username=admin/qn /! * v C : \install.log 」と入力します</pre>
サードパーティパッケージがインストールされていない場合	<pre>「 ActiveIQUnifiedManager-x.y.exe /v 」 mysql_password=mysql_password INSTALLDIR=" インストールディレクトリ \"mysql_data_DIR=" MySQL データディレクトリ \"maintenance_password=maintenance_username/ QR /! * v CompletePathForLogFile" 」です</pre> <p>• 例： *</p> <pre>「 ActiveIQUnifiedManager.exe /s /v 」 mysql_password = netapp21 ! INSTALLDIR= \" C : \Program Files\ NetApp \" mysql_data_DIR= \" C : \ProgramData\MySQLServer\" maintenance_password=* maintenance_username=admin/qr/! * v C : \install.log 」というメッセージが表示されます</pre>

「/qr」オプションを指定すると、ユーザインターフェイスが制限された Quiet モードが有効になります。インストールの進捗を示す基本的なユーザインターフェイスが表示されます。入力を求められることはありません。JRE、MySQL、7zip などのサードパーティパッケージが事前にインストールされていない場合は、「/qr」オプションを使用する必要があります。サード・パーティ・パッケージがインストールされていないサーバで /qn オプションを使用するとインストールは失敗します

/qn オプションを指定すると、ユーザ・インターフェイスを使用しない Quiet モードがイネーブルになります。インストール中にユーザインターフェイスや詳細は表示されません。サードパーティパッケージがインストールされていない場合は /qn オプションを使用しないでください

3. 次の URL を使用して Unified Manager Web ユーザインターフェイスにログインします。

「 <https://IP> アドレス」

JBoss パスワードを変更しています

インストール時に設定されたインスタンス固有の JBoss パスワードをリセットできます。このセキュリティ機能によって Unified Manager のインストール設定が上書きされてしまいます。必要に応じて、パスワードをリセットすることもできます。この処理を実行すると、MySQL へのアクセス時に JBoss で使用するパスワードも変更になります。

開始する前に

- Unified Manager がインストールされている Windows システムに対する admin 権限が必要です。
- MySQL の root ユーザのパスワードが必要です。
- ディレクトリにある、ネットアップが提供する「password.bat」スクリプトにアクセスできる必要があります

C : \Program Files\NetApp\essentials\bin.

手順

1. Unified Manager ホストマシンに admin ユーザとしてログインします。
2. Windows サービスコンソールを使用して、次の Unified Manager サービスを停止します。
 - NetApp Active IQ 取得サービス (Ocie-au)
 - NetApp Active IQ 管理サーバサービス (Oncommandsvc)
3. 「password.bat」スクリプトを起動して、パスワード変更プロセスを開始します。

C : \Program Files\NetApp\essentials\bin>password.bat resetJBossPassword

4. プロンプトが表示されたら、MySQL root ユーザのパスワードを入力します。
5. プロンプトが表示されたら、新しい JBoss ユーザのパスワードを入力し、確認のためにもう一度入力します。

パスワードは 8~16 文字で指定し、数字、大文字、小文字、および次の特殊文字の少なくとも 1 文字を含める必要があります。

!@%^*_-=[]:<> ? /~+

6. スクリプトが完了したら、Windows サービスコンソールを使用して Unified Manager サービスを開始します。
 - NetApp Active IQ 管理サーバサービス (Oncommandsvc)
 - NetApp Active IQ 取得サービス (Ocie-au)
7. すべてのサービスが開始されたら、Unified Manager UI にログインできます。

Unified Manager バージョンでサポートされているアップグレードパス

Active IQ Unified Manager では、バージョンごとに特定のアップグレードパスがサポー

トされます。

Unified Managerの新しいバージョンへのインプレースアップグレードを実行できるわけではありません。Unified ManagerのアップグレードはN-2モデルに制限されているため、アップグレードはすべてのプラットフォームで次の2リリースまで実行できません。たとえば、Unified Manager 9.13および9.14からUnified Manager 9.16へのアップグレードのみを実行できます。

サポート対象よりも前のバージョンを実行している場合は、Unified Managerインスタンスをいずれかのサポート対象バージョンにアップグレードしてから、現在のバージョンにアップグレードする必要があります。

たとえば、インストールされているバージョンがUnified Manager 9.9でUnified Manager 9.14にアップグレードする場合は、一連のアップグレードを実行します。

アップグレードパスの例：

1. 9.11から9.13へのアップグレード
2. 9.13→9.14にアップグレード
3. 9.14から9.16へのアップグレード

アップグレードパスマトリックスの詳細については、こちらを参照してください ["ナレッジベース \(KB\) の記事を参照してください"](#)。

Unified Manager をアップグレードする

WindowsプラットフォームでUnified Manager 9.13または9.14から9.16にアップグレードするには、インストールファイルをダウンロードして実行します。

開始する前に

- Unified Manager をアップグレードするシステムがシステム要件とソフトウェア要件を満たしている必要があります。

を参照してください ["ハードウェアシステムの要件"](#)。

を参照してください ["Windows ソフトウェアとインストールの要件"](#)。



Unified Manager 9.5 以降、OpenJDK はインストールパッケージに含まれており、自動的にインストールされます。Unified Manager 9.5 以降では Oracle Java はサポートされません。



アップグレードを開始する前に、システムに Microsoft .NET 4.5.2 以上がインストールされていることを確認してください。

- MySQL Community Editionは、Unified Managerのアップグレード時に自動的にアップグレードされます。システムにインストールされているMySQLのバージョンが8.4.4より前の場合、Unified ManagerのアップグレードプロセスによってMySQLは自動的に8.4.4にアップグレードされます。以前のバージョンのMySQLから8.4.4へのスタンドアロンアップグレードは実行しないでください。
- ASA R2システムを除くすべてのクラスタがサポートされます。
- Windows の管理者権限が必要です。ユーザ名の先頭に感嘆符「!」が付いていないことを確認してください。インストールを実行するユーザのユーザ名の1文字目が「!」であると、Unified Manager のインス

ツールが失敗することがあります。

- ネットアップサポートサイトにログインするための有効なクレデンシャルが必要です。
- アップグレード中に問題が使用される場合にデータが失われないようにするために、Unified Manager マシンのバックアップを作成しておく必要があります。
- アップグレードを実行するための十分なディスクスペースが必要です。

インストールドライブに、データディレクトリのサイズよりも 2.5GB の使用可能なスペースが必要です。十分な空きスペースがないと、アップグレードが中止され、追加に必要なスペース量がエラーメッセージに表示されます。

- アップグレードの実行中に、パフォーマンスデータの保持期間について、以前のデフォルト設定である 13 カ月のままにするか 6 カ月に変更するかを確認するプロンプトが表示されることがあります。変更を確認すると、6 カ月を過ぎた過去のパフォーマンスデータはパージされます。
- アップグレードする前に、`<InstallDir>\JDK_and_MySQL Data Directory` の開いているファイルまたはフォルダをすべて閉じてください。
- Windows システムにアクティブなウイルス対策ソフトウェアがインストールされている場合、Unified Manager のアップグレードが失敗することがあります。Unified Manager をアップグレードする前に、システムのウイルススキャンソフトウェアをすべて無効にする必要があります。

アップグレードプロセスの実行中は、Unified Manager を使用できなくなります。実行中の処理がある場合は、Unified Manager をアップグレードする前に完了しておいてください

Unified Manager を OnCommand Workflow Automation のインスタンスとペアにして使用している環境では、両方の製品のソフトウェアで新しいバージョンを利用できる場合、2 つの製品間の接続を解除してから各製品をアップグレードし、アップグレードの実行後に Workflow Automation の接続を新たにセットアップする必要があります。いずれかの製品のみをアップグレードする場合は、アップグレード後に Workflow Automation にログインし、Unified Manager からデータを取得していることを確認します。

手順

1. ネットアップサポートサイトにログインし、Unified Manager のダウンロードページに移動します。

"[ネットアップサポートサイト](#)".

2. 必要なバージョンの Unified Manager を選択し、エンドユーザライセンス契約 (EULA) に同意します。
3. Unified Manager Windows インストールファイルまたは zip ファイルを Windows システムのターゲットディレクトリにダウンロードします。必要に応じて zip ファイルを展開し、インストールファイルがあるディレクトリに移動します。Unified Manager インストーラの実行可能ファイル (.exe) を右クリックし、管理者として実行します。

Unified Manager から次のメッセージが表示されます。

```
This setup will perform an upgrade of Unified Manager. Do you want to continue?
```

4. [はい] をクリックし、[次へ] をクリックします。
5. インストール時に設定した MySQL84 root パスワードを入力し、*Next* をクリックします。
6. サポートされている Web ブラウザで新しいウィンドウで Web UI を起動し、ログインしてアップグレード後

のバージョンのUnified Managerを使用します。

7. Windowsシステムにアクティブなアンチウイルスソフトウェアがインストールされている場合は、アップグレードの完了後に、アンチウイルススキャンから次のパスを手動で除外してください。
 - Unified Manager データディレクトリ
 - Unified Manager インストールディレクトリ
 - MySQL データディレクトリ



Unified Manager のサイレントアップグレードを実行するには、次のコマンドを実行します。
"ActiveIQUnifiedManager-<version>.exe /s /v"/qn /Li "mysql_password=<password>/l * v
<system_drive> : \install.log

サードパーティ製品のアップグレード

JRE などのサードパーティ製品が Windows システムにインストールされている場合は、Unified Manager でそれらの製品をアップグレードできます。

これらのサードパーティ製品を開発する企業は、定期的にセキュリティの脆弱性を報告しています。このソフトウェアの新しいバージョンには、独自のスケジュールでアップグレードできます。

OpenJDK のアップグレード

Unified Manager がインストールされている Windows サーバで OpenJDK を新しいバージョンにアップグレードすることで、セキュリティの脆弱性に対する修正を入手できます。

開始する前に

Unified Manager がインストールされている Windows システムに対する admin 権限が必要です。

OpenJDK のリリースはリリースファミリー内で更新できます。たとえば、OpenJDK 11.0.16からOpenJDK 11.0.18にアップグレードできますが、OpenJDK 11からOpenJDK 12に直接更新することはできません。

手順

1. Unified Manager ホストマシンに admin ユーザとしてログインします。
2. OpenJDK の適切なバージョン（64 ビット）をターゲットシステムにダウンロードします。

たとえば、をダウンロードします `jdk-11.0.18_windows-x64_bin.zip` from <https://www.oracle.com/in/java/technologies/javase/jdk11-archive-downloads.html>。



ファイルをダウンロードするにはOracleアカウントが必要です。Oracleアカウントをお持ちでない場合は、"[Oracleアカウントのサインイン](#)" ページをクリックして作成します。

3. Windows サービスコンソールを使用して、次の Unified Manager サービスを停止します。
 - NetApp Active IQ 取得サービス（Ocie-au）
 - NetApp Active IQ 管理サーバサービス（Oncommandsvc）

4. 「 zip 」 ファイルを展開します。
5. 作成されたからディレクトリとファイルをコピーします jdk ディレクトリ (例: jdk-11.0.18 Javaがインストールされている場所)に移動します。例 C:\Program Files\NetApp\JDK\
6. Windows サービスコンソールを使用して Unified Manager サービスを開始します。
 - NetApp Active IQ 管理サーバサービス (Oncommandsvc)
 - NetApp Active IQ 取得サービス (Ocie-au)

サードパーティ製品のアンインストール

Unified Managerをアップグレードしたあと、PythonやMicrosoft Visual C++ 2013などのサードパーティ製品をアンインストールできます。これはオプションです。

Pythonのアンインストール

手順

1. で、 [プログラム]>[プログラムと機能]*を選択します。
2. プログラムのリストからPythonを選択します。
3. [このプログラムをアンインストールする]*を選択します。3.12以外のPythonのすべてのバージョンをアンインストールします。Pythonバージョン3.12を保持していることを確認します。

Microsoft Visual C++ 2013のアンインストール

手順

1. で、 [プログラム]>[プログラムと機能]*を選択します。
2. プログラムのリストから* Microsoft Visual C++ 2013 *を選択します。
3. [このプログラムをアンインストールする]*を選択します。

Unified Manager を再開しています

設定を変更した場合、 Unified Manager の再起動が必要になることがあります。

開始する前に

Windows の管理者権限が必要です。

手順

1. デフォルトのローカル管理者アカウントで Windows にログインします。
2. Unified Manager のサービスを停止します。

方法	サービスを停止する順序
コマンドライン	a. 「 ocie au 」 が停止します b. 'c stop Oncommandsvc

方法	サービスを停止する順序
Microsoft Service Manager の略	a. NetApp Active IQ 取得サービス (Ocie-au) b. NetApp Active IQ 管理サーバサービス (Oncommandsvc)

3. Unified Manager のサービスを開始します。

方法	サービスを開始する順序
コマンドライン	a. 'c start Oncommandsvc b. 「c start ocie-au」を参照してください
Microsoft Service Manager の略	a. NetApp Active IQ 管理サーバサービス (Oncommandsvc) b. NetApp Active IQ 取得サービス (Ocie-au)

Unified Manager をアンインストールしています

Unified Manager をアンインストールするには、プログラムと機能ウィザードを使用するか、コマンドラインインターフェイスから無人アンインストールを実行します。

開始する前に

- Windows の管理者権限が必要です。
- ソフトウェアをアンインストールする前に、Unified Manager サーバからすべてのクラスタ（データソース）を削除しておく必要があります。
- MySQLポート3306を許可またはブロックするために作成されたファイアウォールルールは手動で削除する必要があります。ファイアウォールルールは自動的に削除されません。

手順

1. 次のいずれかを実行して Unified Manager をアンインストールします。
 - Unified Managerをプログラムと機能*ウィザードからアンインストールする場合は、次の手順を実行します。
 - i. [コントロールパネル > プログラムと機能 *] に移動します。
 - ii. Active IQ Unified Manager を選択し、* Uninstall * をクリックします。
 - コマンドラインからUnified Managerをアンインストールする場合は、次の手順を実行します。
 - i. 管理者権限でWindowsのコマンドラインにログインします。
 - ii. Active IQ Unified Manager ディレクトリに移動し、次のコマンドを実行します。

```
「+ msixexec /x {A78760DB-7EC0-4305-97dB - E4A89CDFF4E1} /qn /l * v
%systemdrive%\UmUnInstall.log +」
```

サーバでユーザアカウント制御（UAC）が有効になっていて、ドメインユーザとしてログインしている場合は、コマンドラインによるアンインストールを実行する必要があります。

Unified Manager がシステムからアンインストールされます。

2. Unified Manager のアンインストール時に削除されない次のサードパーティパッケージとデータをアンインストールします。
 - サードパーティパッケージ：JRE、MySQL、Microsoft Visual C# 43；2015再頒布可能パッケージ、Python、7zipで構成されます
 - Unified Manager によって生成された MySQL のアプリケーションデータ
 - アプリケーションログとアプリケーションデータディレクトリの内容

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。